

理科シラバス（第3学年）

指導の方針

○基礎的・基本的な知識及び技能の習得をめざして

- ・ 安全・正確に観察・実験を行う技能を身につけさせます。
- ・ ねらいを明確にした授業を行い、基礎・基本を身につけさせます。

○思考力・判断力・表現力その他の能力の育成をめざして

- ・ 観察・実験の結果、記録などを、筋みちを立てて考察し、自分の考えをまとめ、他者の意見を取り入れ、深化させる学習活動を展開します。

○学習意欲の向上や学習習慣の確立をめざして

- ・ 日常生活での事象や体験を意識した導入を行い学習意欲を向上させます。
- ・ 基礎・基本の確実な定着のために、小テスト、プリント、問題集等を活用します。

評価の観点と評価の資料

| | | | |
|-------|---------------------------------|---------------------------------|---|
| 評価の観点 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 評価の資料 | 実験の技能 レポート 技能テスト 定期テスト | レポート 定期テスト 考え及び考えの発想 等 | 学習への態度・姿勢 ポートフォリオ レポート 提出物 忘れ物 等 |

評価と評定の関連

○各教科の評定（5段階）は、各観点の評価（A○=5点、A=4点、B=3点、C○=2点、C=1点）をもとに算出します。評価と評定の関連は、下表のとおりです。

| | | | | | | |
|------------------|---------|-----------|---------|-----------|------|----|
| 【知識・技能】 | A 80%以上 | B 50%以上 | C 50%未満 | | | |
| 【思考・判断・表現】 | A 80%以上 | B 50%以上 | C 50%未満 | | | |
| 【主体的に学習に取り組む態度】 | A 80%以上 | B 50%以上 | C 50%未満 | | | |
| 3観点の合計（例） | | | | | | |
| 三観点の組み合わせ | 合計点数 | 三観点の組み合わせ | 合計点数 | 三観点の組み合わせ | 合計点数 | 評定 |
| A°A°A° | 15点 | A°A°A | 14点 | | | 5 |
| A°AA | 13点 | AAA | 12点 | A°BB | 11点 | 4 |
| ABB | 10点 | BBB | 9点 | BBC° | 8点 | 3 |
| BC°C° | 7点 | C°C°C° | 6点 | C°C°C | 5点 | 2 |
| C°CC | 4点 | CCC | 3点 | | | 1 |

学習内容と学習のねらい

| 月 | 学習内容 | 学習のねらい |
|----|--------------------------------------|--|
| 4 | 2 生命の連続性 ①生物の成長 | <ul style="list-style-type: none"> 多細胞生物は細胞分裂で成長することを理解し、細胞分裂の過程をとらえる。 生物は有性生殖や無性生殖によって子孫を残していることを理解する。 遺伝の規則性等について理解する。 |
| 5 | ②生物の殖え方 ③遺伝の規則性 ④生物の種類の多様性と進化 | |
| 6 | 1 化学変化とイオン ①水溶液とイオン | <ul style="list-style-type: none"> 水溶液には電流が流れるものと流れないものがあることを理解する。 イオンの存在を知り、電池とイオンの関連を理解する。 酸性、アルカリ性の水溶液の性質を理解し、中和についてイオンを用いて説明する。 |
| 7 | ②酸・アルカリとイオン | |
| 8 | ③電池とイオン | |
| 9 | 4 運動とエネルギー ①力の規則性 | <ul style="list-style-type: none"> 物体にはたらく力の存在、合力、分力を理解する。 運動には速さと向きがあることを理解する。 エネルギーには、さまざまな姿があること、エネルギーの総量は一定であることを理解する。 |
| 10 | ②力と運動 ③仕事とエネルギー ④エネルギーの移り変わり | |
| 11 | 3 地球と宇宙 ①天体の1日の動き | |
| 12 | ②天体の1年の動き ③月や惑星の動きと見え方 ④太陽系と恒星 | <ul style="list-style-type: none"> 恒星や太陽などの天体の日周運動は、地球の自転によって説明できることを理解する。 星座に対する太陽の1年の動きは、地球の公転によって説明できることを理解する。 太陽系についておもに太陽、月、金星の特徴を知る。 |
| 1 | 5 自然環境や科学技術と私たちの未来 ①生物と環境との関わり | <ul style="list-style-type: none"> 環境との調和を図りながら、科学と技術を発展させていく必要があることを理解する。 地球環境を守り、自然との共生の必要性を認識する。 自然界で生物と環境要因が互いにかかわり、全体としてつりあいが保たれていることを理解する。 環境との調和を図りながら、科学と技術を発展させていく必要があることを理解する。 |
| 2 | ②自然環境と私たち ③自然災害と私たち | |
| 3 | ④エネルギー資源の利用と私たち ⑤科学技術の利用と自然環境の保全 | |